

国本泰英／杉山卓朗／宮城壮一郎

設定と接点

Nii Fine Arts Tokyo では 2021 年 4 月 9 日（金）から 4 月 25 日（日）まで、国本泰英、杉山卓朗、宮城壮一郎の 3 名によるグループ展「設定と接点」を開催いたします。

新型コロナウイルスの発生から 1 年以上が過ぎました。この状況の下、他者との接触や移動は抑制され、人と人との有機的な交流は希薄になっています。しかし、その抑制によって生じた時間は、時に内省の機会となって、私たちに新たな視点を提示してくれます。

本展は、2019 年福岡での展覧会から約二年を経て、再び同じ作家によって構成されるものです。その間も互いに対話を続けてきた三人の作家には、社会の動向による影響や、個人的な事柄を強く作品に表さない、という共通点が挙げられます。未曾有の渦中にありながらも、作家それぞれの設定の中、淡々と制作された作品に触れることで、現代に生きる私たち自身や他者について改めて考える機会になればと思います。

国本泰英

1984 年大分県生まれ、大分県在住。曖昧な存在としての物事を主な題材として絵画を制作する。

「新作展」Nii Fine Arts Tokyo（東京 /2019）他、九州・関西・東京などで個展・グループ展多数。

杉山卓朗

1983 年千葉県生まれ、兵庫県在住。立体的、幾何学的イメージの絵画を制作。近年はデータ上の図像について意識を高めた作品にも取り組む。

「周縁と方法」五台山竹林寺（高知 /2017）他、関西・東京などで個展・グループ展多数。

宮城壮一郎

1979 年宮崎県生まれ、宮崎県在住。漆芸家。沖縄、香川、漆産地で修行の後、宮崎にて独立。「工芸の再構築」を主題に掲げ、伝統技法を用いて多様な「検証」を試みる。

「宮城壮一郎 重ねる仕事」Graphpaper（東京 /2018）他、九州・東京などで個展・グループ展多数。



設定と接点

Nii Fine Arts
Tokyo

国本泰英

"Rawlings(by Rawlings)"

2021 47x100cm アクリル絵の具、キャンバス

杉山卓朗

"No.1"

2021 60.6x72.7cm アクリル絵の具、キャンバス

宮城壮一郎

"armed"

2020～杉、漆

『設定と接点』 開催概要

作家：国本泰英／杉山卓朗／宮城壮一郎

会期：2021 年 4 月 9 日（金）～ 4 月 25 日（日）

休廊日：月～木

時間：11:00 ～ 19:00

会場：Nii Fine Arts Tokyo

東京都千代田区外神田 6 丁目 11-14 3331 Arts Chiyoda 211

デザイン：ニシグチデザイン室

企画：国本泰英

Nii Fine Arts
Tokyo